

2010年3月期 決算説明会

2010年6月11日



イメージ情報開発株式会社

大証ヘラクレス：証券コード 3803

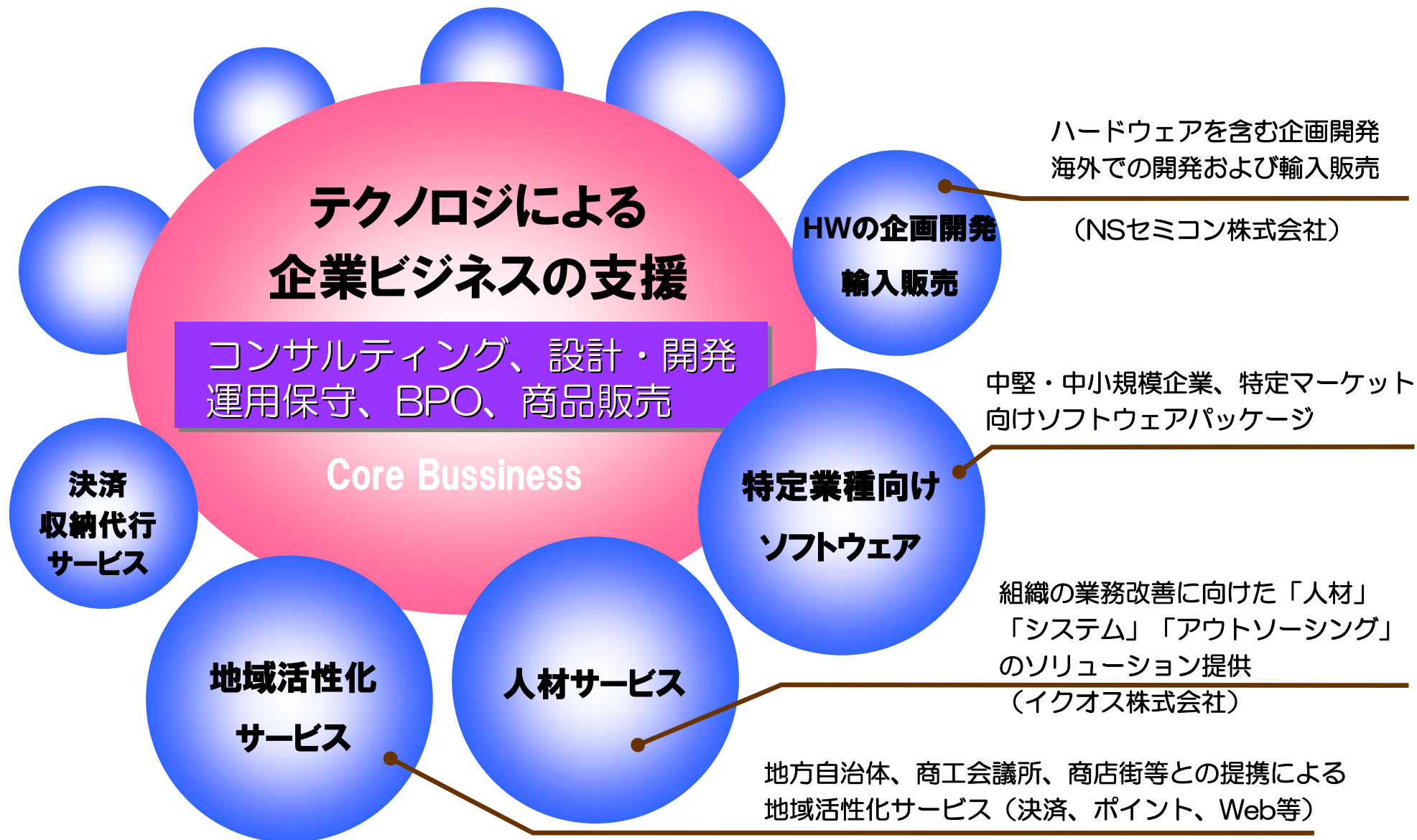
I グループ概要

II 2010年3月期 決算概要

III 2011年3月期 の計画

【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都港区芝大門2-10-12
【事 業 所】	名古屋営業所：名古屋市中区錦3-1-30
【子 会 社】	2社（NSセミコン株式会社、イクオス株式会社）
【沿 革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年4月 コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年9月 インターネットデータセンター開設 平成18年4月 大阪証券取引所ヘラクレスへ株式上場 平成19年5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年7月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立

- システム開発を中心とした総合サービスによる『企業ビジネスの支援』、シナジーの得られる製品・サービスで構成します。



I グループ概要

II 2010年3月期 決算概要

III 2011年3月期 の計画

■ 当連結会計年度業績(連結決算)

◎ 売上高 817百万円

世界的な景気悪化、企業のIT投資抑制・投資時期の先送りによるシステム案件の減少により大幅減

◎ 経常損失 70百万円

管理体制の強化によりプロジェクト利益率は向上するも、売上減少による収益減、新規事業立ち上げの先行投資等により損失

※7月にNSセミコン株式会社を子会社化、第2四半期より連結決算開始
負ののれん(37百万円)が発生。8月より3年間で償却

※12月にイクオス株式会社を設立(連結子会社)

■ 事業進捗状況

IT総合ソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

◎ 新領域のサービスを拡充

- ・ NSセミコン株式会社を買収
⇒ ハードウェア関連サービスを開始。電子機器、LED等のソリューション
- ・ イクオス株式会社を設立
⇒ 2011年3月期より人材関連サービスを開始予定

◎ 新規プロダクトの開発

- ・ 中堅・中小企業向け基幹システム販売を開始
⇒ 段ボールボックスメーカー向け基幹システム、
『i-case（アイケース）』を発売

◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 商工会議所向けシステムをSaaSで提供開始
⇒ 取引商工会議所数が50を突破
- ・ 医療機関向けシステム・BPOサービスの構築を開始
⇒ 2011年3月期よりサービス開始予定

■ 経営インフラの強化を実施

◎ 管理体制の強化

全社組織の見直し、管理部門体制およびプロジェクト管理体制を強化
不採算プロジェクトの低減（原価率低減）

◎ 内部統制、コンプライアンス

子会社の取得・連結に伴い内部統制システム、コンプライアンス体制を変更

◎ 情報セキュリティ

セキュリティ管理体制を強化、プライバシーマークの更新、PCIDSS認定を
視野に入れたセキュリティ対策を実施

■ 資本政策

◎ 自社株買の実施

2009年2月26日から2009年9月18日迄に68株取得。買付総額7.1百万円

■ 前期比で、売上23.6%減(単体)、赤字転落

※ 第2四半期より連結

<連結>

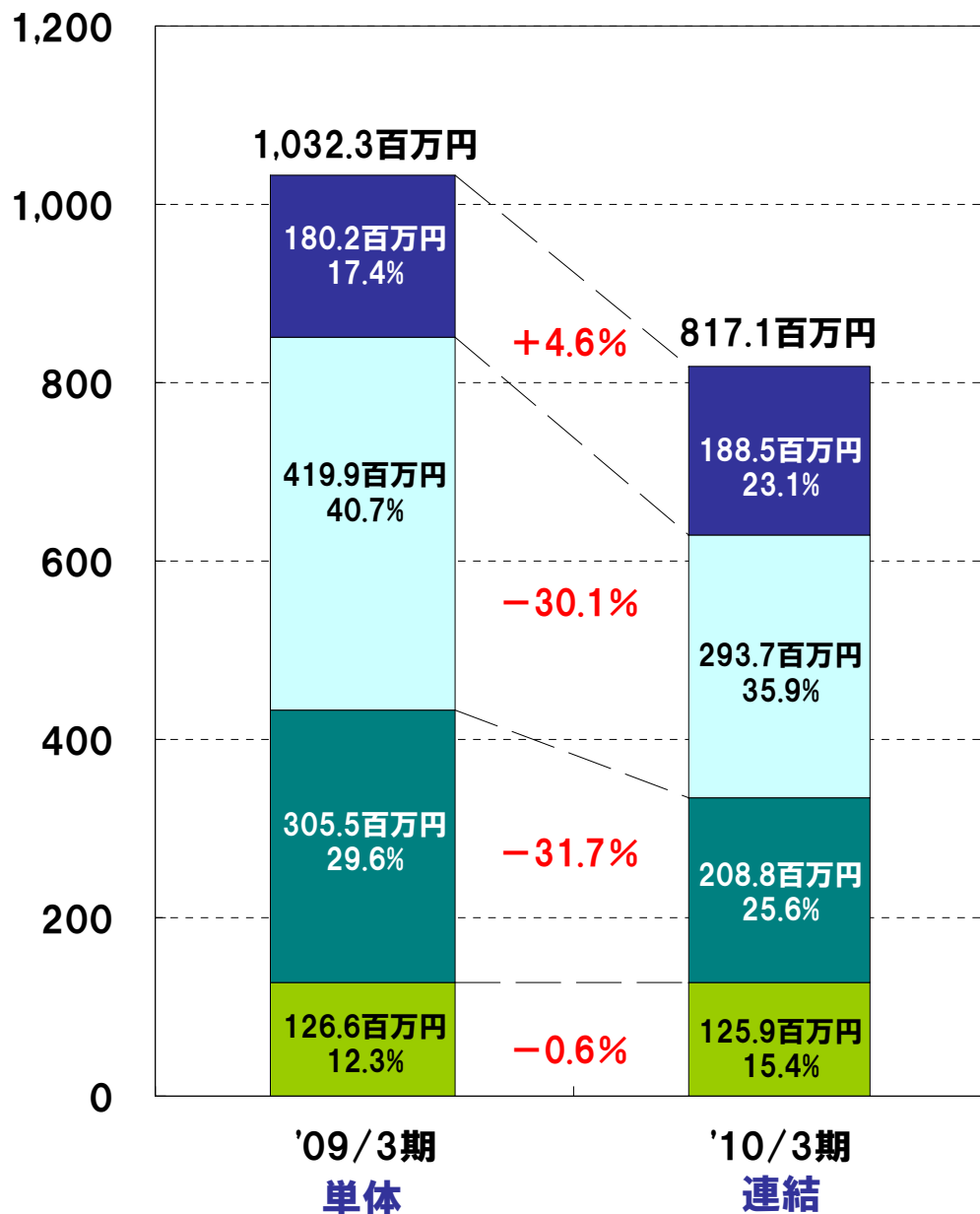
<単体>

【単位：百万円】

	'10/3期	'09/3期	'10/3期	対前期比	
	実績(連結)	実績(単体)	実績(単体)	増減	増減率(%)
売上高	817	1,032	788	△243	△23.6
売上総利益	270	318	243	△74	△23.5
販管費	362	280	305	25	9.2
営業損益	△92	38	△62	△100	—
経常損益	△70	55	△50	△106	—
当期純損益	△165	48	△134	△183	—

- ✓ 景気悪化、顧客企業のIT投資抑制に伴う大幅な受注減(売上減)
- ✓ 原価抑制(粗利率の向上)を実現するも、受注減によるマイナスをカバーするに至らず
- ✓ 新規事業への先行投資により販管費が増加
- ✓ 負ののれん償却により営業外収益が一部寄与
- ✓ 取引先の破産申請に伴い、特別損失を計上

【単位:百万円】



システム案件の大幅な受注減により、全区分においてマイナス影響

商品販売

システム案件は減少したが、新商品である『i-case』の販売や、新たに開始した電子機器販売が寄与し、増加

コンサルティング/設計/構築

運用/保守

システム案件の減少に伴い、大幅減

BPO/サービス

安定的な収益のサービスであり、顧客数等も伸びているが、景気悪化により、商店の売上減少に影響を受ける決済サービス等が減少

【単位：百万円】

		'10/03
資産合計		1,276
	流動資産	1,079
	固定資産	197
負債合計		363
	流動負債	245
	固定負債	117
純資産合計		912
負債純資産合計		1,276

- ✓ 流動資産：現預金845百万円、受取手形・売掛金181百万円
- ✓ 固定資産：投資有価証券54百万円、敷金保証金82百万円、有形固定資産26百万円
- ✓ 流動負債：買掛金156百万円、賞与引当金32百万円、前受金11百万円
- ✓ 固定負債：退職給付引当金92百万円、負ののれん25百万円
- ✓ 純資産：資本金467百万円、資本剰余金510百万円、利益剰余金38百万円、自己株式△95百万円

【単位：百万円】

	‘09/3	‘10/3	増減	増減率 (%)
資産合計	1,294	1,262	△32	△2.5
流動資産	912	1,026	114	12.5
固定資産	382	235	△146	△38.3
負債合計	189	319	130	68.8
流動負債	92	226	134	145.3
固定負債	96	92	△4	△4.3
純資産合計	1,105	943	△162	△14.7
負債純資産合計	1,294	1,262	△32	△2.5

- ✓ 流動資産：現預金増219百万円、有価証券減100百万円（償還）、受取手形減6百万円
- ✓ 固定資産：投資有価証券減212百万円（償還200百万円）、無形固定資産（ソフトウェア等）増15百万円
- ✓ 負債：買掛金増129百万円、賞与引当金増11百万円、前受金増5百万円
- ✓ 純資産：利益剰余金減155百万円、自己株式取得による減7百万円

【単位：百万円】

	‘10/3期
営業活動によるキャッシュフロー	27
投資活動によるキャッシュフロー	256
財務活動によるキャッシュフロー	△27
現金及び現金同等物の増加額	257
現金及び現金同等物の期末残高	442

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前前当期純損失 140百万円、売上債権減少 43百万円、仕入債務増加 117百万円、破産更生債権等の増加 76百万円
- ✓ 投資活動CF：有価証券償還収入100百万円、投資有価証券売却・償還収入 298百万円
- ✓ 財務活動CF：配当金支払 19百万円、自己株取得による支出 7百万円

【単位：百万円】

	‘09/3期	‘10/3期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	62	30	△32
投資活動によるキャッシュフロー	△300	216	516
財務活動によるキャッシュフロー	△44	△27	17
現金及び現金同等物の増加額	△282	219	501
現金及び現金同等物の期末残高	185	404	219

- ✓ 営業活動CF：税引前当期純損失 120百万円、売上債権減少 8百万円、仕入債務の増加 129百万円、破産更生債権等の増加 76百万円
- ✓ 投資活動CF：有価証券・投資有価証券売却・償還による収入 398百万円、投資有価証券取得 95百万円、関係会社株式取得 41百万円
 ※ 関係会社株式取得（NSセミコン株式会社、イクオス株式会社）は連結では相殺消去
- ✓ 財務活動CF：配当金支払 19百万円、自己株取得による支出 7百万円

I グループ概要

II 2010年3月期 決算概要

III 2011年3月期 の計画

IT支援サービス(システム案件)は、引き続き厳しい環境を想定 基盤となる技術の蓄積(教育)、シナジーの得られるサービスの推進・構築を強化

■ IT支援サービスの推進

以下のサービス推進との連携も含め、システム案件の営業を強化

■ 自社プロダクトサービスの推進

『i-case (アイケース)』のプロモーション強化、新商品の開発

■ 人材サービスの立上げ

人材を中心とした、企業組織改革に向けた総合ソリューション提供

■ ハードウェア関連サービスの成長

環境分野をテーマとし、LED、LSI等を中心に販売を強化

■ 医療機関向けサービスの立上げ

医療分野へのサービスを強化。医療システム、医療事務のサービス提供を開始

■ 事業拡大による増収と黒字化を目指します。

【単位：百万円】

	‘10/3期 (実績)	‘11/3期 計画 (連結)			
		上期	下期	通期	増減率(%)
売上高	817	540	760	1,300	59.09
営業利益	△92	△40	70	30	—
経常利益	△70	3	67	70	—
当期純利益	△165	2	63	65	—

■ 事業立上げ・拡大による増収

- ・ 新規サービスの推進、既存サービスとのシナジーを創造

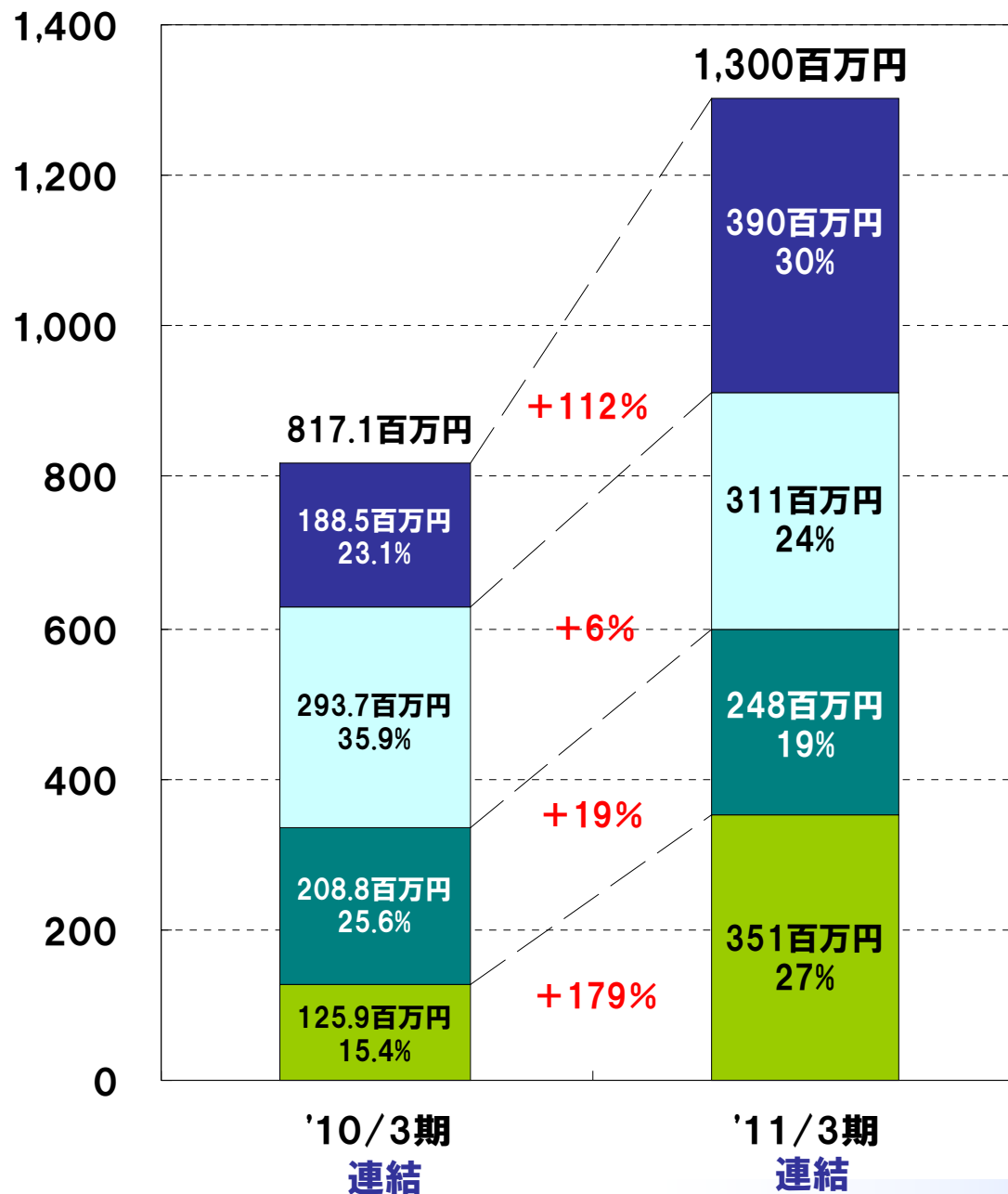
■ 黒字化（売上拡大による増益、人材・事業への投資）

- ・ 全事業の基盤となる技術の蓄積（教育）
- ・ 新規サービス・製品実現に向けた投資
- ・ 新規サービスへの効果的人材配置を含むプロジェクト管理の強化
- ・ 効率的なグループ経営の推進

2011年3月期の計画(売上構成)



【単位:百万円】



商品販売

- ・「i-case」の販売増
- ・ハードウェア販売の増

コンサルティング/設計/開発

- ・システム案件受注強化による増

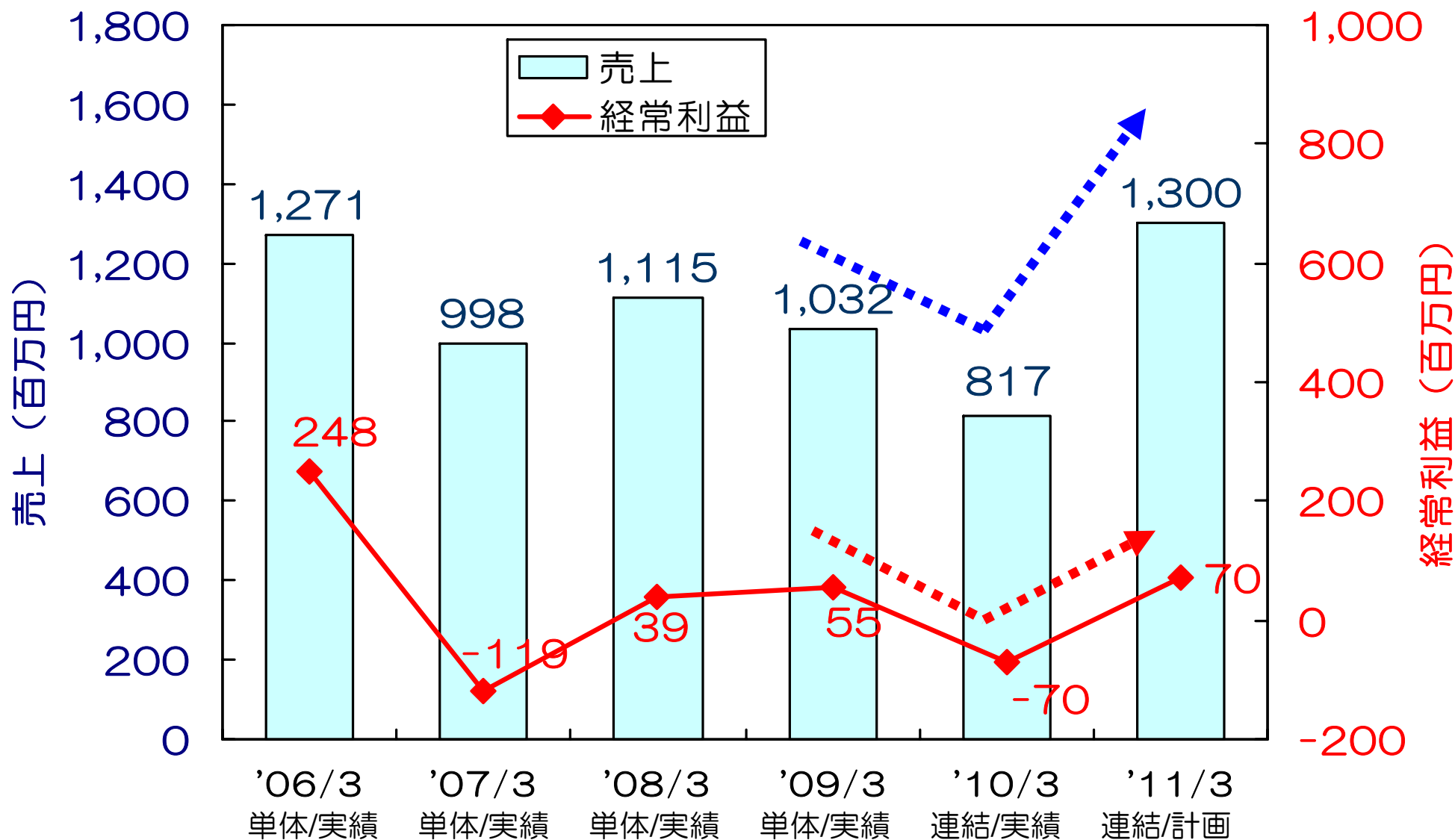
運用/保守

- ・商品販売、システム案件増加に伴う増

BPO/サービス

- ・商工会議所向けサービス、決済サービスの積上げ
- ・人材サービスの開始
- ・医療機関向けサービスの開始

■ グループでの売上V字回復、経常損益の黒字化、継続的成長に向けた事業推進



本日は、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

経営管理室 室長 百瀬 哲

TEL : 03 - 5733 - 5631

FAX : 03 - 5733 - 6038

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。